

教育親善野球大会 競技細則 (改正)

平成20年9月7日 役員会承認

神奈川県少年教育親善野球連盟

- (1) 試合実行に関する統制は当連盟本部にて行う。
- (2) ベンチは、組み合わせの若い番号チームを1塁側とする。
- (3) 試合球は公認試合球ケンコーボールC号(新意匠)を使用する。
ブロック戦は、各チームが試合に先立ち2個をメンバー表と共に担当球審に提出する。
本部大会においてのボールは当連盟本部で準備する。
- (4) 攻守に係わりなく、1塁側へ飛んだファールボールは1塁側が、又3塁側へ飛んだファールボールは3塁側が速やかに処理して主審に渡して下さい。(ネット裏のボールは攻撃側チームが処理をする)
- (5) 試合前のシートノックは、後攻チームより各5分間とする。(時間の都合により無い場合も有ります)
- (6) 相手チームをひぼうしたりやじってはならない。
- (7) 投手の投球練習は、初回5球、2回目より3球以内とする。
(キャッチャーは必ずマスクを着用すること)
- (8) ベンチ入りの監督・コーチはユニホームの着用を原則とし、マナー第一主義を忘れぬこと。
- (9) 抗議権は監督(代理監督を含め当日試合のメンバー表に記載)と当該選手のみとする。
- (10) 攻守交代は敏速に行う。打者は速やかに打席に入ること。
- (11) 審判は試合状況に応じ、主催者及びブロック長より協力を要請された場合、これに従ってください。
- (12) 選手の危険防止及び健康管理には各チームの責任者が充分留意して下さい、本大会中に於ける事故責任に対して本部は一切関知しません。
(スポーツ保険に加入していない選手の出場は認められません)
- (13) 1塁へのスライディングは危険防止のため禁止とします。(塁上を駆け抜けるよう指導してください)
- (14) ヘルメットは、打者・走者はもとよりランナーコーチャーも必ず着用すること。
- (15) 試合時間
ブロック戦は1時間20分とし、これを越えて新しいイニングに入らない。
本部大会では7回戦・1時間30分とし、これを越えて新しいイニングに入らない。
決勝戦は時間に関係なく7回戦とする。
- (16) ブロック戦での時間制限内及び7回戦終了時点で同点の場合は引き分けとする。
- (17) ブロック戦で勝率が同率の場合は、プレーオフで順位を決定する。
但し、同率チームが3チーム以上の場合は、組み合わせ抽選によるプレーオフで順位を決定する。
- (18) 投捕間距離・塁間距離(ブロック戦・本部大会共に)
春季大会の場合 投捕間距離は 15m・塁間距離は23mとする。
秋季大会の場合 投捕間距離は 16m・塁間距離は23mとする。
- (19) ボークの取り扱い
春季大会の場合
ブロック戦でのボークは全て注意に留める、この場合審判はボークコールを行いボーク発生時点の進塁状態を維持させるものとする。
本部大会のボークは1回目から適用する。
秋季大会の場合
ブロック戦・本部大会共にボークは1回目から適用する
- (20) コールドゲーム
ブロック戦・本部大会共に3回以降10点差、5回以降7点差とする。但し、決勝戦に於いてはコールドゲームは採用せず7回戦とする。
日没および降雨コールドの場合は5回の裏終了時点でゲーム成立とする。
本部大会で同点延長の場合、『特別ルール』として、無死・走者満塁・打者は前イニングよりの継続とし、3塁走者は前々打者、2塁走者は前々打者、1塁走者は前打者としての攻撃とする。
(この場合攻撃側・守備側とも前イニングの守備攻撃メンバーで行う)
但し、5回以降で決着がつかない場合は、抽選にて勝敗を決定する
- (22) 雨天の場合の連絡は、ブロック戦は各ブロック長から、本部大会に於いては本部事務局より連絡する。

附則 ブロック戦において1試合でも棄権のあったチームは本部大会への出場権を失う。